

地域と学生団体の関わり

松尾桜歌*1

指導教員:竹内和樹*1 ドウラゴ英理花*2 草野昂志郎*3 三岡恵子*4

Email: ouka30180524@gmail.com

*1: 東京都武蔵野市 聖徳学園高等学校3年

◎Key Words まちづくり 学生団体 コミュニティ

1. はじめに

私は生まれた時から17年間、東村山市に住んでいる。だが小、中、高と市内の学校には通っておらず別の地域の学校に通っていた。そのため地域内の同世代との交流が薄く、またそれを埋めるコミュニティもあまり存在しないように思えた。

同世代との交流を深め地域活性のため、東村山市内に「学生主体で地域活性化に取り組む学生団体」を発足したいという考えに行き着いた私は「たのしむらやま 学生団体Action's」という学生団体を立ち上げ、活動している。

2. 研究背景

2.1 日本の現状とこれまでの経験

2015年国連サミットにて「持続可能な開発目標」SDGsが採択された。その中で私はSDGs11番目の目標「住み続けられるまちづくり」に興味関心を抱いていた。今の日本では様々な県や地域で地域活性化に向けた取り組みを行っている。また、学生主体で地域活性化に取り組む団体も増えてきたように感じる。図1のように、国土交通省 都市局(2016年3月)によると全国で組織形態別のまちづくり団体が4099団体ある。この団体数は全国の都道府県から見ると少なく、地域づくりをするには少ないと思われる。

そこで私は国際交流ボランティア¹で学んだことやこれまで活動してきたことを活かして何か自分の地域に対してアクションできるのではないかと思いこの実践を始めることにした。

図1 組織形態別のまちづくり団体数

組織形態		総数	市町村からの出資が3%以上の団体の割合
社団法人	公益社団法人	3	66
	一般社団法人	63	
財団法人	公益財団法人	13	31
	一般財団法人	18	
特定非営利活動法人	認定NPO法人	8	527
	NPO法人	519	
株式会社		218	71%
持分会社		5	40%
任意団体		3,157	
その他		95	
合計		4,099	

2.2 団体立ち上げの経緯

学生が主体的に地域活性化にむけた活動を行うことが地域にとって最適だと考え、学生団体を作り活動したいと思ったが、私は団体の作り方が全くわからなかった。その時、東村山市で「東村山市わたしたちのSDGsアイデアコンテスト」の募集がかかっていたのを見つけた。そこで私は、今の自分の考えを誰かに伝えたいという思いから、応募したところ、1次審査、2次審査を通して高校生部門でグランプリを受賞することができた。

この受賞を機に東村山市を盛り上げるために動いている多くの人の方と知り合ったことにより、団体を立ち上げるためのステップをこと細かく教えてもらった。その結果、「たのしむらやま 学生団体Action's」という名前の団体を立ち上げることができた。

¹ 国際交流ボランティア 聖徳学園内の生徒主体のボランティア団体で海外の方と英語で交流をしたり、生徒がゼロから企画・運営する団体である。

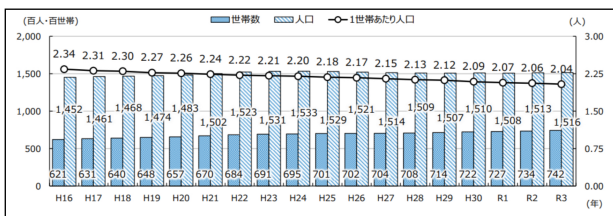
3. 東村山市の現状

2023年7月に出された東村山市SDGs未来都市計画によると、平成23年7月の15万3558人をピークに人口は減少傾向である。また、人口構成比は老年人口割合が増加している一方、2013年を境に生産年齢人口割合が減少し、少子高齢化が進んでいることが分かった。

同都市計画によると、地域コミュニティの希薄化が問題として挙げられており、コロナ禍以降、地域におけるさまざまな活動が制限され、コミュニティの希薄化が進んでいる。

以下のことから東村山市の現状は人口が減少し、市民が多様化する将来に向けて、市民の誰もが個性を尊重され、個性を活かして活躍できるコミュニティ作りが重要であると考えた。

図2 東村山市 人口グラフ



東村山市SDGs未来都市計画から転載(3)

4. 地域と学生の関わりの意義

地域と学生の関わりには2つの意義があると考えられる。1つ目は、学生は地域の課題や社会的な問題解決に貢献することによって社会的な意義や責任感を身につけることができる。

2つ目は、学生団体は地域の課題解決や社会貢献の活動を通じて地域住民との交流を深め、個人が地域の一員としてのアイデンティティを形成できることである。

学生は新しい視点やアイデア、柔軟な思考力を持ち合わせているため、地域の問題に対して創造的な解決策を提案することができる。

また図3のとおり、東村山市まちづくり部が高校生との交流を求めているという声が上がっているため、団体を立ち上げることのメリットは大いにある。

図3 まちづくりニュース 交流・にぎわいの創出を進める上での課題

【課題①】 既存施設・スペースの柔軟な活用

- ・オープンな場とすることと安全確保の両立が大切ではないか。
- ・高校生との交流などを通じて、若い世代のアイデア・意欲を取り込むことが未来を創るのではないか。

まちづくりニュースから転載(2)

5. アンケート調査について

東村山市に学生主体で地域活性化に取り組む団体は必要とされているのかを確認するべく、アイデアコンテストで繋がることのできた大人の方や、facebookの東村山会というグループチャットにてアンケートを送信し、実際に東村山市の住民73名にアンケートを行った。

実際のアンケート内容は図4に示す。

質問2に対して95.9%の方が「はい」と回答した。

またその理由について自由回答でアンケートをとった結果(図5) 63名の回答を得た。内容は「東村山市に大学がないため、学生の団体が少ないから、もっと学生が前に出て町をよくしてほしい」、「若年層の新しい価値観、アイデアが必要だ」、「若い人たちが市を盛り上げてほしい」など若い人たちに期待を寄せる回答であった。図6の質問4では71人からの回答を得た。4-4「たのしむらやまフェスティバル 学生×地域×企業」が41回答中で最も選択数が多かった。

図4 アンケート 質問内容

質問1：学生が主体で活動を行っている団体をご存じですか？

質問2：東村山市に学生主体の団体は必要だと思いますか？

質問3：理由を教えてください

質問4：学生団体と地域活性化に向けて一緒に活動したいことはありますか？（いくつでも選択可）

4-1 学生の考えを取り入れた新しい商品開発

4-2 学生が開催するアイデアソンコンテスト SDGs11 住み続けられるまちづくりをテーマに

4-3 学生と健康に！スポーツフェスタ

4-4 たのしむらやまフェスティバル 学生×地域×企業

4-5 学生と語り継ぐ東村山の歴史

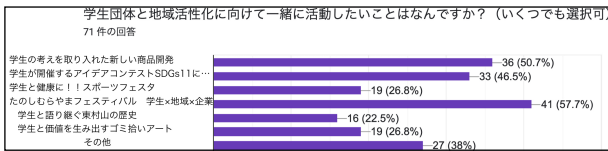
4-6 学生と価値を生み出すゴミ拾いアート

4-7 学生と未来を語るディベート大会

図5 自由記述 理由について



図6 質問4 内容



6. 考察

今回のアンケート調査の結果から、地域の人たちは若者に対して市内で活躍することを求めていることがわかった。よって、東村山市には学生主体の団体は需要があることを確認することができた。そのため、学生が主体となって東村山市の地域活性化に貢献する団体、「学生団体 Action's」を立ち上げた。

7. 学生団体Action'sの現状

大人の方々にアドバイスをいただきながら団体を立ち上げた後の手順を聞き、ゴールデンサイクルを用いて、この団体の活動理念や、活動内容を分析し、それをもとに、団体のロゴ、LP、LINEアカウント、チラシを作成した。

また現在は今後の流れについて、東村山市役所企画政策課の方々とディスカッションを重ねながら、今後の活動に向けてプランニングを行っている。また、団体の人員不足を解決するために、東村山市第二中学校に訪問し、校長先生と壁打ちを行い、東村山市の中学校全体で行っている「生徒総会サミット」にて学生に向けて広報を行う時間をいただく事ができた。

8. 今後の展望と課題

今後の活動としては、独創的な発想、柔軟性を持っている学生を最大限生かせるような活動を行う。学生団体Action'sの運営メンバーを増やし、アンケート調査 質問5 を参考に地域活性化につながるイベントを開催したい。

地域のやって欲しいこと、学生のやりたいことの双方の意見を実現できる、「大人と学生の架け橋」になるような団体を目指して活動していきたい。

9. おわりに

私は地域のコミュニティの希薄化に問題意識をむけ、団体を立ち上げ多くの方と関わることで、以前よりも東村山について知ることができた。今後もこの研究活動を通して東村山市の地域コミュニティに関わらず、全国に向けて、より地域が活性

化できる方法を考えていきたい。

謝辞

本研究を実施するにあたって、東村山在住のアンケートにご協力いただいた73名の方々、東村山市市役所 経営政策部企画政策課 課長補佐 濱崎様、主査 渡邊様、主事 岡村様 東村山市立東村山第二中学校 校長 荒木様、東村山市議会委員 小林様、結企画工房株式会社 建築デザイナー コンサルタント 学生団体Action's アドバイザリー 竹内様、心からの御礼を申し上げます。および、本稿を読んで意見や修正をしてくださった、指導教員4名の方に特別の感謝を申し上げます。

参考文献

- (1) まちづくり活動の担い手のあり方検討会資料 [https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/keikaku/sogo/files/\(2024.6.27\)](https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/keikaku/sogo/files/(2024.6.27))
- (2) まちづくりニュース [https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/machi/machidukuri/files/toshi_sportarea_news7\(2024.6.24\)](https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/machi/machidukuri/files/toshi_sportarea_news7(2024.6.24))
- (3) 東村山市 未来都市計画 [https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/keikaku/sogo/files/sdgsmiraitoshi_miraitoshikeikaku.\(2024.6.27\)閲覧](https://www.city.higashimurayama.tokyo.jp/shisei/keikaku/sogo/files/sdgsmiraitoshi_miraitoshikeikaku.(2024.6.27)閲覧)